

ユニットだより

「浴衣姿で花火」

Aユニット・ショートステイでは、七月二十四日に月間行事で花火大会を行いました。

施設開設以来、花火は初めての行事であり、担当スタッフもどんな準備をして迎えたらいいか幾分迷った結果、まず職員は浴衣などの着物を着て参加し、夏の風物詩に花を添えよう、と決めました。(写真)

当日は思惑通り、女性職員の華やかで艶のある浴衣姿に人氣が殺到し、花火大会を一層盛り上げた形になりました。

もちろん、花火の方も派手さはありませんが、上がるたびに、利用者様から盛んな拍手をいただきました。



くことができ、職員も嬉しい気持ちになりました。

ある男性利用者は感極まって歌をうたい、更なる場の雰囲気盛り立てて下さいました。

その他、このような花火を見るのも何十年振りと言う方もいて、こうした利用者様の楽しそうな表情を見ると、花火は日本の素晴らしい文化なのだと思つた次第です。

Aユニット・ショートステイでは、これからも利用者様が喜んで下さる行事を企画し、実施していきたいと思ひます。(Aユニット・ショートステイ I)

「見事な筆運び」

北海道生まれの山田徳藏様は、十勝原野に育まれた精悍な風貌とは反対に人付き合いが良く、その上多趣味で昔はカラオケや将棋、庭樹などたしなまれたようです。

五月下旬からBユニットで共に生活を送るようになって二ヶ月あまり経ちました。



「何かうんまい物はなにか？」と職員に訴えることがあります。まだ食事提供に時間がある時には本を読んで過した

り、他利用者様がタオル等をたたんでいると一緒に手伝って下さいます。手早で、几帳面にたたんで下さるので職員も大変助かっています。

また字が上手で、先日職員が「〇〇」という字を書いて下さい」と依頼すると、スラスラと見事な筆運びで書いて下さいました。「字がとてもし上手ですね。毛筆やっていたのですか？」と尋ねましたら「やってねえ。上手かなあ？」と照れ笑いをされていました。(写真)

職員が山田様にお礼を言うと「サンキューベロマッチョ」と山田様もニコッと微笑んで応えてくれます。

(B・Cユニット M)

「花壇の水やり」

ある日の午後、Eユニットの三木千枝様がベランダの花に職員が水やりをしているのを見て、「私も花壇に水をやっていいかね」と言われ、職員が付き添って花壇の水やりをして頂きました。

ベランダに出ると熱気が感じられ「暑いねえー。これじゃ花が枯れちゃうだろうに」と吹きながら、一つ一つ丁寧に水をあげていました。ミニトマトもベランダで栽培しており、上の部分がまだ熟していないのを見て「おいしく育ておくれ」と言いながら水をあげている姿が印象的で微笑ましかったです。

「花は好きですか？」と尋ねると「どちらかと言えば好きだよ」と少し曖昧な答えでしたが、花や植物を見ている姿は大変穏やかで、とても和んでいる様子が感じられました。

(E・Fユニット H)



すこやか生活目誌

今年も猛暑日が続く、各地で高温注意報が発令されているのを目にしませす。熱中症には注意が必要ですね。

人の体重の約六十パーセントは水分です。その内五パーセントの水分が失われると脱水症状や熱中症の症状が現れます。喉の渇きは脱水が始まっているサインです。こまめに水分補給をするようにしましょう。また、たくさん汗をかいたときには水分だけでなく塩分の補給も必要です。私たちの体は水分とナトリウムなどの電解質のバランスを保つことで体温調整機能などを維持しています。

ビールなどのアルコール類は利尿作用があり、たくさん飲んでも水分補給にはならないので気をつけてください。

(管理栄養士)



編集後記

日差しも強く、外に出るのを躊躇する毎日です。比較的、夏は好きでしたがダレて溶けてしまひそうです。家庭では、そんな中でも子供は元気にしています。私は家庭に不安を抱えると自分自身のパフォーマンスが低下するので、元気でいてくれてありがたく感じます。日々身体も大きくなくなり、言葉も振る舞いも一端になり、少しずつ生意気になってきました。

そんな様子を見ていて最近願うのは、没頭できる何かを見つけたいと思います。飽きずに毎日続けて、例えば私に注意されても振り返らないくらいの何か。概ね、何でも良いです。何か見つかるといいなと勝手に思いますが子供を見ていることです。馬鹿みたいの一つのことを続けて、振り切れたら最高です。ね。

(管理者)

